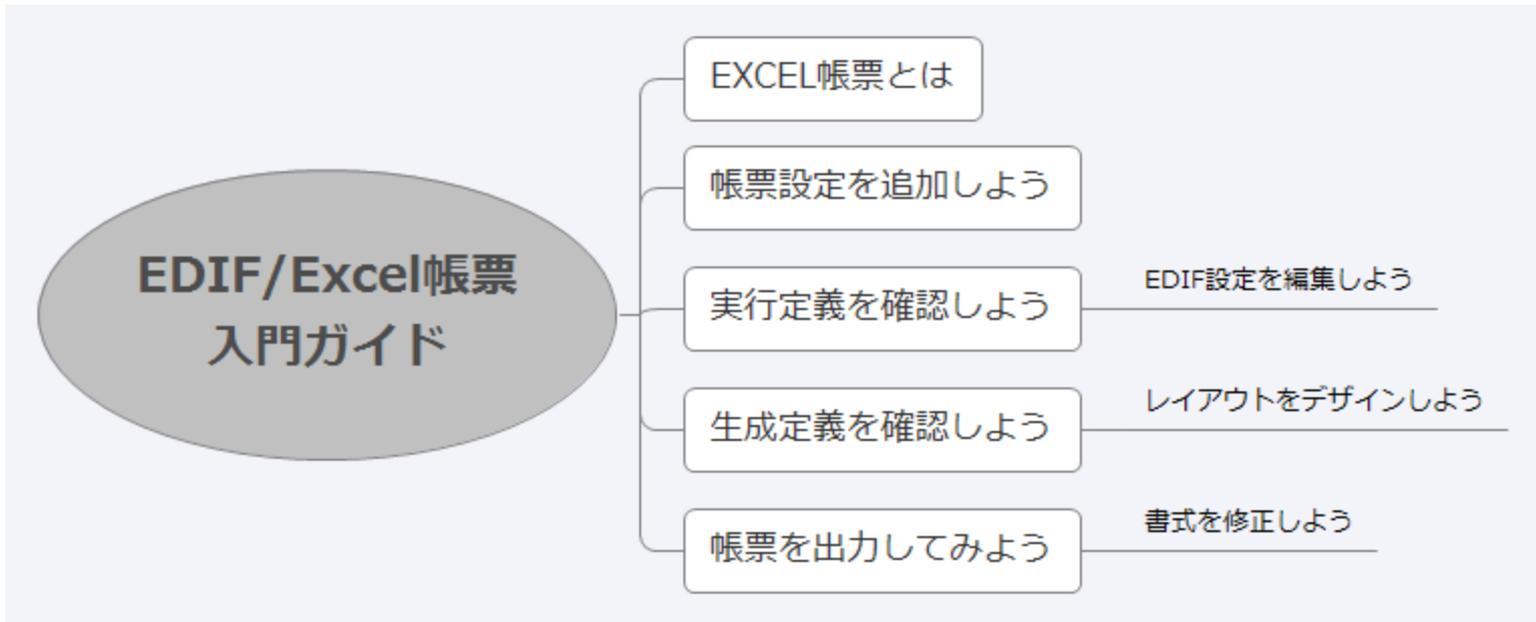


FLEXSCHE Excel帳票 入門ガイド

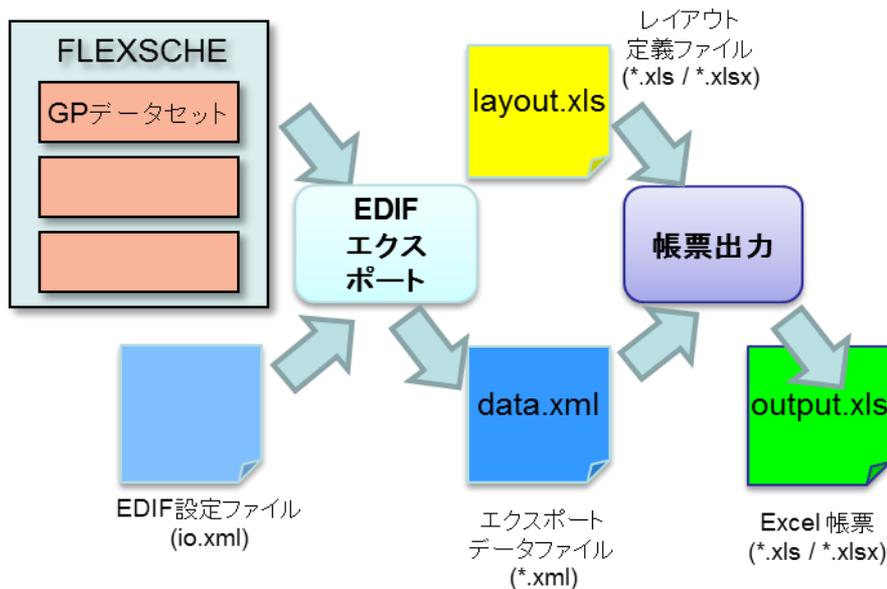


目次



EXCEL帳票とは

- EDIFを用いて出力された一時データを元に、それをEXCEL形式の帳票として出力する機能です。
- 利用するにはFLEXSCHE EDIF の他、Microsoft Excel 2003以降が必要です。
- レイアウトデザインもEXCELで行うので、多くの方に操作に抵抗なく編集していただけます。



作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源
N0000 梱包	N0000	2015/10/29 17:45	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0000 検査	N0000	2015/10/29 15:00	2015/10/29 17:45	佐々木
N0000 組立	N0000	2015/10/29 10:40	2015/10/29 15:00	組立1
N0000 切断-1	N0000	2015/10/28 12:26	2015/10/28 15:52	切断機2
N0000 切断-2	N0000	2015/10/28 15:12	2015/10/29 10:40	切断機1
N0001 梱包	N0001	2015/10/14 13:00	2015/10/17 13:45	梱包要員
N0001 検査	N0001	2015/10/13 10:27	2015/10/14 9:12	工藤
N0001 組立	N0001	2015/10/12 9:12	2015/10/13 10:27	組立2
N0001 切断-1	N0001	2015/10/8 17:36	2015/10/9 14:48	切断機1
N0001 切断-2	N0001	2015/10/8 15:50	2015/10/10 12:12	切断機2
N0002 梱包	N0002	2015/10/17 13:00	2015/10/22 14:00	梱包要員
N0002 検査	N0002	2015/10/16 8:12	2015/10/17 9:27	佐々木
N0002 組立	N0002	2015/10/14 13:22	2015/10/16 8:12	組立1
N0002 切断-1	N0002	2015/10/10 11:13	2015/10/12 10:49	切断機1
N0002 切断-2	N0002	2015/10/9 17:01	2015/10/13 8:50	切断機3
N0003 梱包	N0003	2015/10/29 16:05	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0003 検査	N0003	2015/10/29 9:07	2015/10/29 16:05	工藤
N0003 組立	N0003	2015/10/28 9:52	2015/10/29 9:07	組立2
N0003 研磨	N0003	2015/10/26 12:43	2015/10/28 9:52	研磨機1
N0003 切断	N0003	2015/10/24 10:43	2015/10/26 12:43	切断機1
N0004 梱包	N0004	2015/10/14 13:00	2015/10/15 14:55	梱包要員

- この入門ガイドでは「EDIF入門ガイド」に引き続き、簡単な作業指示書を出します。
- 本項の部分から体験したい場合はサンプルデータ「EDIF入門ガイド2」をご利用いただけます。その場合は「EDIF入門ガイド」p.4「プロジェクトを複製しよう」を参考にサンプルプロジェクトを複製してご利用ください。

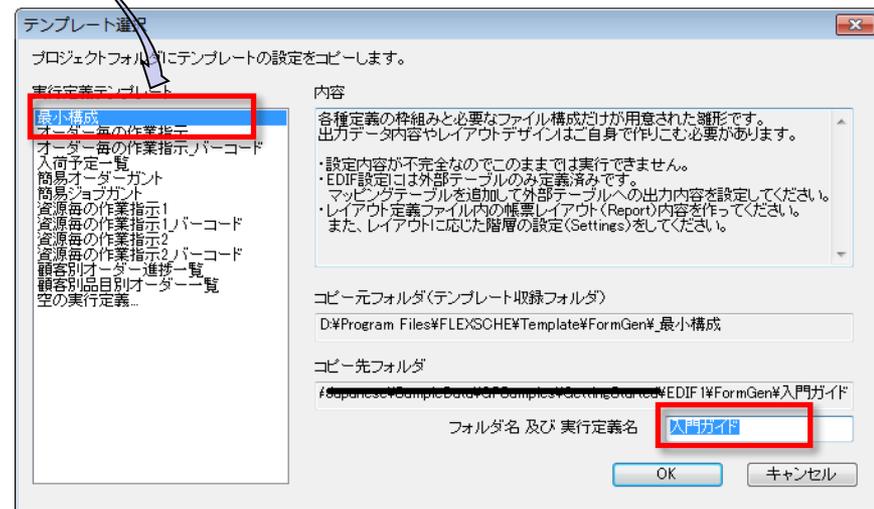
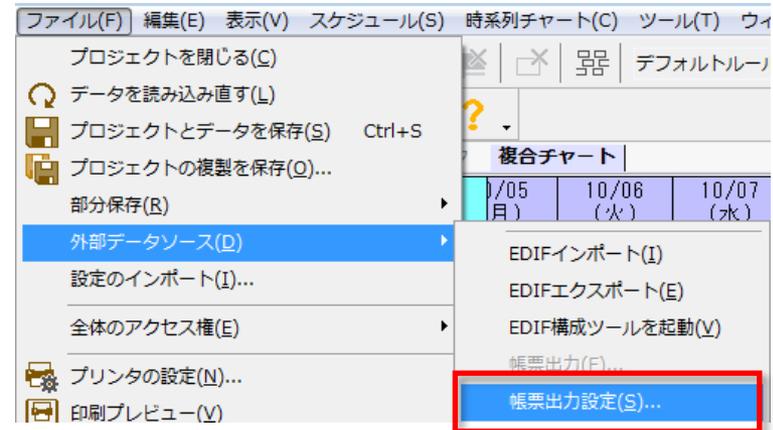
- それでは、EXCEL帳票の出力までを実際に体験してみましょう。

最終出力物イメージ

帳票設定を追加しよう

メニューから「ファイル」-「外部データソース」-「帳票出力設定」を選択してください。

実行定義一覧画面が表示されますが、今はまだ設定がありません。設定を追加しましょう。



帳票の設定情報は構成が少し複雑です。簡単に設定を作れるようにテンプレートがいくつか用意されています。今回は「最小構成」を選択してください。フォルダ及び実行定義名は「入門ガイド」という名前にして「OK」してください。

EDIF設定を編集しよう

EDIF構成ツールを使ってEDIF設定情報を作っていきます。まず  ボタンをクリックしテーブルマッピングを追加します。設定画面が開くので以下のように設定してOKしてください。

テーブルマッピング名: test

任意の名前です。分かりやすい名前をつけてください。

今回は「test」としました。

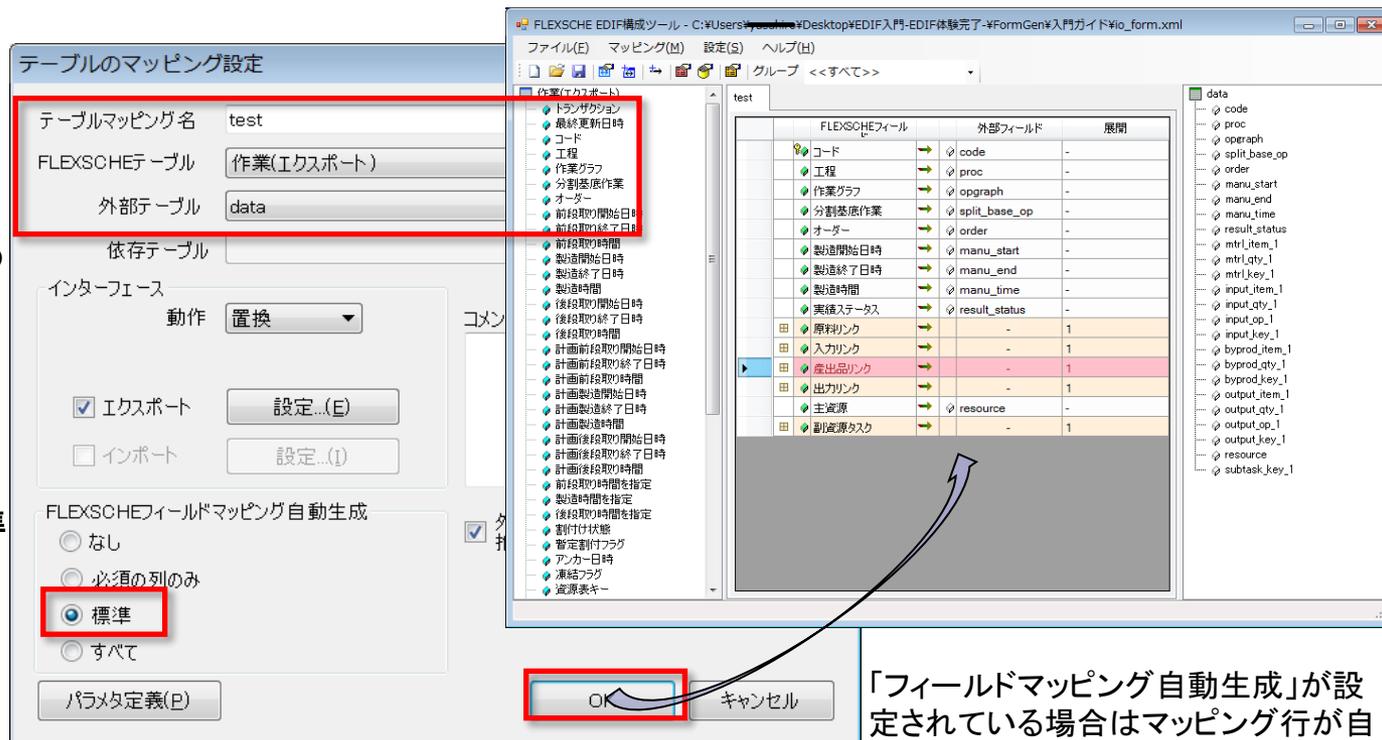
FLEXSCHEテーブル: 作業(エクスポート)

作業指示書を作るので、各作業の情報を出力します。

外部テーブル: data

定義済み外部テーブルを指定します。

フィールドマッピング自動生成: 標準



テーブルのマッピング設定

テーブルマッピング名 test

FLEXSCHEテーブル 作業(エクスポート)

外部テーブル data

依存テーブル

インターフェース 動作 置換

エクスポート 設定...(E)

インポート 設定...(I)

FLEXSCHEフィールドマッピング自動生成

なし

必須の列のみ

標準

すべて

パラメタ定義(P)

OK キャンセル

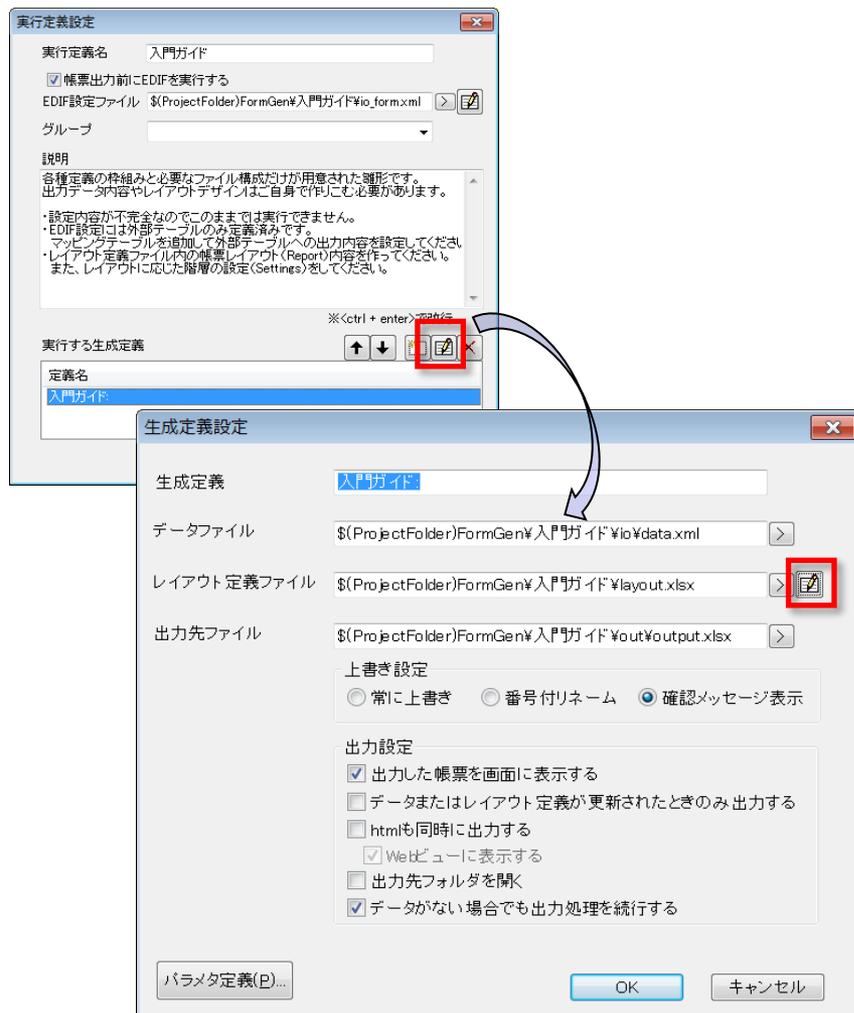
FLEXSCHEフィールド	外部フィールド	展開
コード	code	-
工程	proc	-
作業グラフ	opgraph	-
分割基底作業	split_base_op	-
オーダー	order	-
製造開始日時	manu_start	-
製造終了日時	manu_end	-
製造時間	manu_time	-
実績ステータス	result_status	-
原料リンク	-	1
入カリンク	-	1
産出リンク	-	1
出カリンク	-	1
主資源	resource	-
副資源タスク	-	1

「フィールドマッピング自動生成」が設定されている場合はマッピング行が自動的に作られます。

これで、data.xmlに作業情報を出力するための設定ができました。保存してください。

生成定義を確認しよう

次に生成定義の内容を確認します。実行定義設定画面の下部にある生成定義[入門ガイド:]の編集画面を表示してください。



生成定義

帳票を構築するために必要な各ファイルパスを管理します。

・データファイル

帳票の中身となるデータファイルを指定します。
先程のEDIFエクスポートによって出力されるデータファイルパスがすでに指定されています。

・レイアウト定義ファイル

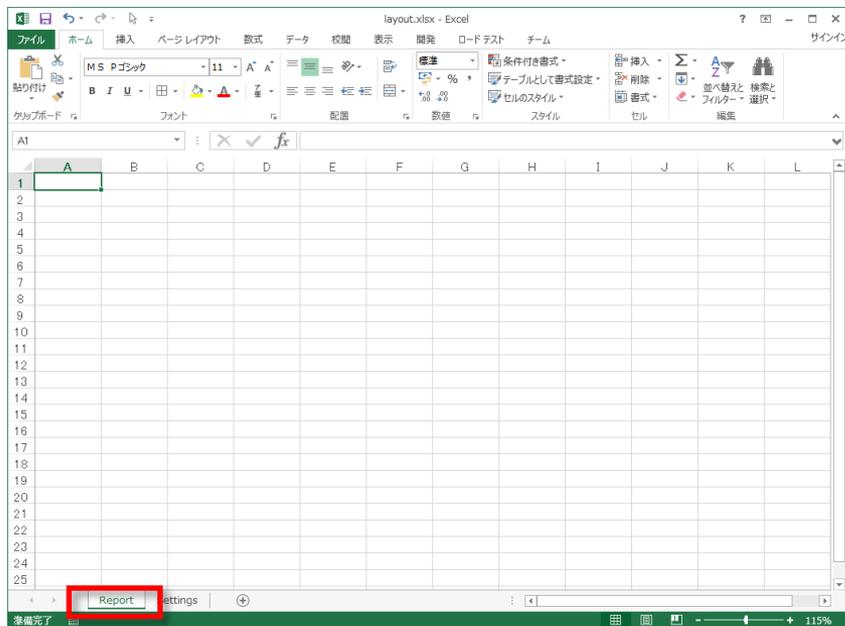
帳票デザイン用のEXCELファイルを指定します。
テンプレートから作ったのでファイルは自動的に用意されていますが、「最小構成」の場合はレイアウト内容がまだありません。
編集ボタンを押すとEXCELが起動してファイルを編集できます。

・出力先ファイル

生成した帳票ファイルの出力先パスを指定します。

レイアウトをデザインしよう

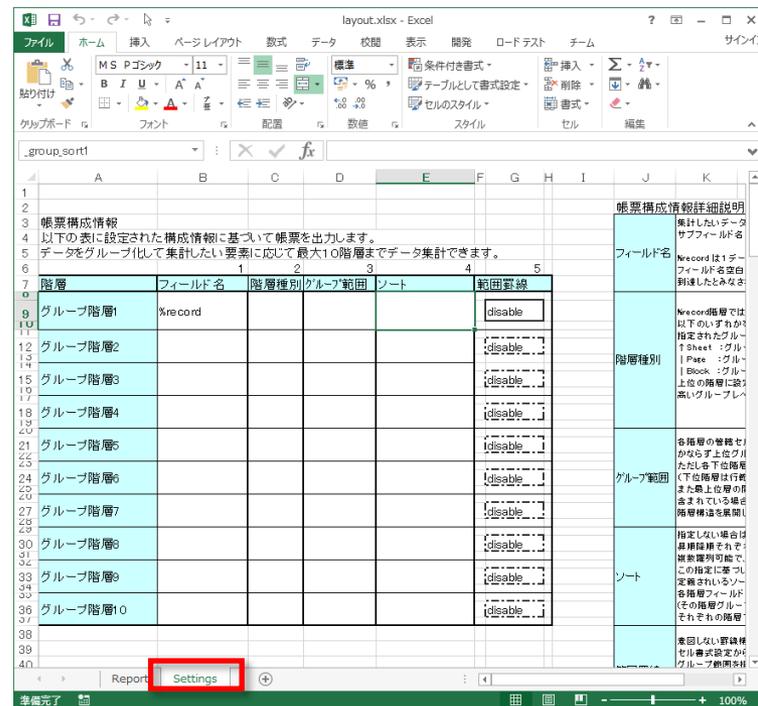
生成定義編集画面からレイアウト定義ファイルを編集します。編集ボタンを押すとEXCELが立ち上がりlayout.xlsxの内容を編集できます。レイアウト定義ファイルは[Report]と[Settings]という2つのシートで構成されます。



[Report]

帳票デザインを設定します。

タイトルや表の枠組みなどを自由にレイアウトすることができます。



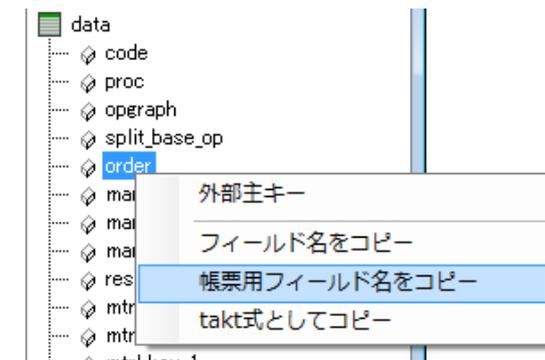
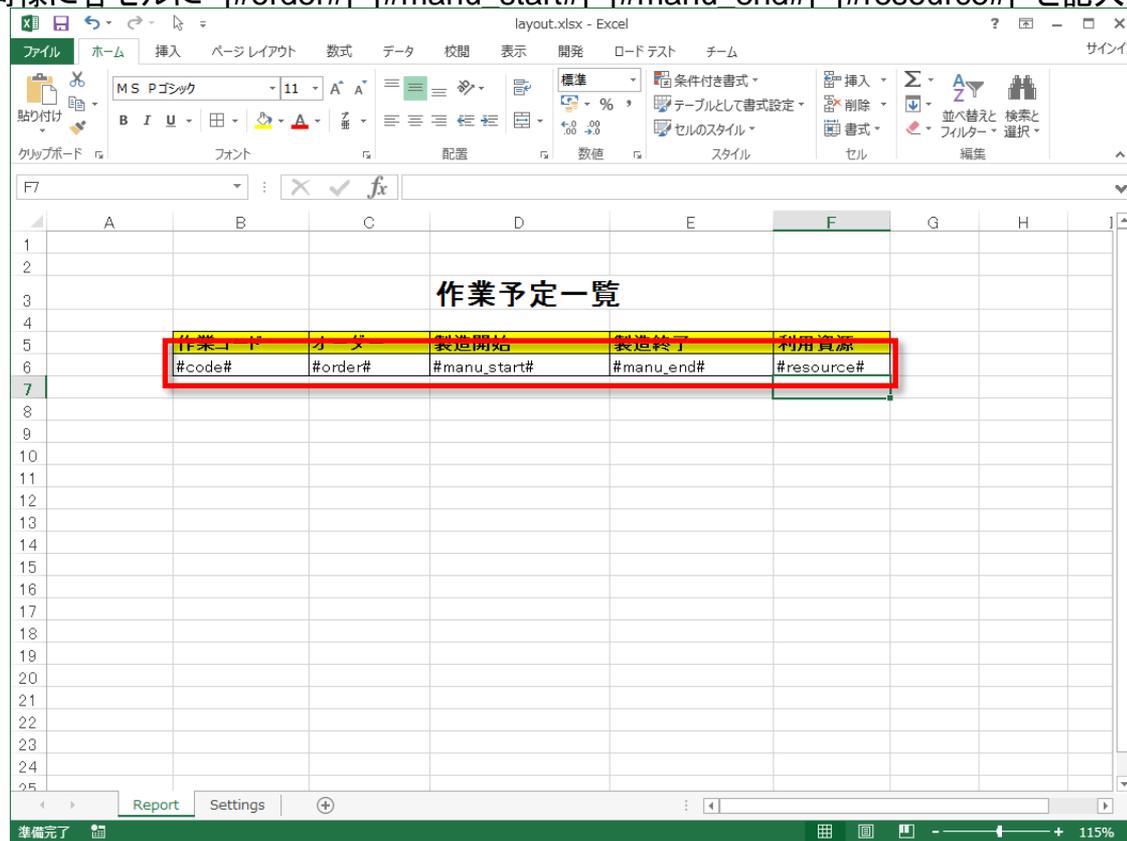
[Settings]

Reportシートでレイアウトした内容の解釈方法を設定します。この設定によってデータ要素に応じてどの行が増えるのかなどが決まります。

また、Reportシート内に記入できる書式説明などのリファレンスも兼ねています。

レイアウトをデザインしよう

枠ができれば、どのセルに何の情報を表示するのかを設定していきます。
 実際に作業コードを表示させたい箇所のセル内容に [#code#] と記入します。
 表示させたいフィールド名を#括りで記述するのはExcel帳票機能の決まりごとです。
 (このフィールド名はEDIFエクスポートした外部フィールド名が対応します。)
 同様に各セルに [#order#] [#manu start#] [#manu end#] [#resource#] と記入してください。



EDIF構成ツールの外部フィールドのツリーでは
 各要素を右クリックすると
 #fieldname#
 形式の文字列をクリップボードにコピーできます

デザイン用の[Report]シートはこれで完成です。引き続き[Settings]シートを設定します。

レイアウトをデザインしよう

今回のデザインでは6行目の部分がデータ行で、データ件数に応じてこの行部分が繰り返される(肉付けされていく)ことを期待しています。

[Settings]シートにそのような解釈を記述します。

The screenshot shows two sheets in an Excel workbook named 'layout.xlsx'. The 'Report' sheet (left) has a table with the following data:

作業コード	オーダー番号	製造開始	製造終了
#code#	#order#	#manu_start#	#manu_end#

The 'Settings' sheet (right) contains a table for defining layout layers:

階層	フィールド名	階層種別	範囲罫線
グループ階層1	%record	B6:F6	disable
グループ階層2			disable
グループ階層3			disable
グループ階層4			disable
グループ階層5			disable
グループ階層6			disable
グループ階層7			disable
グループ階層8			disable
グループ階層9			disable
グループ階層10			disable

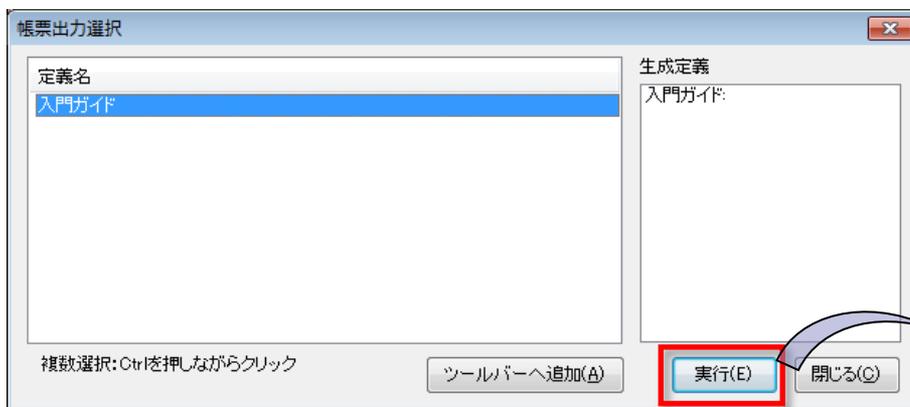
The 'B6:F6' cell in the 'Settings' sheet is highlighted with a red box. The right side of the image contains a text box explaining the configuration.

グループ階層1の
グループ範囲に
[B6:F6]
と記入します。
(各自のレイアウト
デザインに応じて
エリアの指定内容
を変えてください)

これでlayout.xlsxも出来上がりです。保存してEXCELを閉じてください。
設定はこれで完了です。帳票の設定画面も閉じてください。

帳票を出力しよう

では帳票を出力してみましょう。
メニューから「ファイル」-「外部データソース」-「帳票出力」 を選択してください。



出力したい実行定義を選択して、実行ボタンをクリックします。

作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源
N0000-梱包	N0000	2015/10/29 17:45	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0000-検査	N0000	2015/10/29 15:00	2015/10/29 17:45	佐々木
N0000-組立	N0000	2015/10/29 10:40	2015/10/29 15:00	組立1
N0000-切断-1	N0000	2015/10/28 12:26	2015/10/28 15:52	切断機2
N0000-切断-2	N0000	2015/10/28 15:12	2015/10/29 10:40	切断機1
N0001-梱包	N0001	2015/10/14 13:00	2015/10/17 13:45	梱包要員
N0001-検査	N0001	2015/10/13 10:27	2015/10/14 9:12	工藤
N0001-組立	N0001	2015/10/12 9:12	2015/10/13 10:27	組立2
N0001-切断-1	N0001	2015/10/8 17:36	2015/10/9 14:48	切断機1
N0001-切断-2	N0001	2015/10/8 15:50	2015/10/10 12:12	切断機2
N0002-梱包	N0002	2015/10/17 13:00	2015/10/22 14:00	梱包要員
N0002-検査	N0002	2015/10/16 8:12	2015/10/17 9:27	佐々木
N0002-組立	N0002	2015/10/14 13:22	2015/10/16 8:12	組立1
N0002-切断-1	N0002	2015/10/10 11:13	2015/10/12 10:49	切断機1
N0002-切断-2	N0002	2015/10/9 17:01	2015/10/13 8:50	切断機3
N0003-梱包	N0003	2015/10/29 16:05	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0003-検査	N0003	2015/10/29 9:07	2015/10/29 16:05	工藤
N0003-組立	N0003	2015/10/28 9:52	2015/10/29 9:07	組立2
N0003-研磨	N0003	2015/10/26 12:43	2015/10/28 9:52	研磨機1
N0003-切断	N0003	2015/10/24 10:43	2015/10/26 12:43	切断機1
N0004-梱包	N0004	2015/10/14 13:00	2015/10/15 14:55	梱包要員

帳票が表示されました。

FLEXSCHE Excel帳票 入門ガイド Version 22.0

2023年 3月発行

株式会社フレクシェ

〒140-0001 東京都品川区北品川1-19-5 コーストライン品川ビル2F

TEL: 03-6712-9549

FAX: 03-6712-9539

E-Mail: info@flexsche.com

URL: <https://www.flexsche.com/>

本マニュアルの著作権は、株式会社フレクシェにあります。株式会社フレクシェの文書による承諾を得ずに、電子的、機械的、光学的またはその他のいかなる形や手段によっても、本書の一部または全部を無断で複製、翻訳、伝送、写本することはできません。

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

